

年頭のご挨拶

鹿児島市長 下鶴 隆央



令和六年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島市医師会の皆様におかれましては、日頃から、昼夜を問わず、医療の最前線でご尽力されていることに深く敬意を表します。

また、近年のコロナ禍への懸命な対応をはじめ、夜間急病センターの管理運営や予防接種・健診・検診、介護保険の認定、本市主催の各種協議会等への参画など、市政の各面にわたり、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、我が国では、三十年ぶりの賃上げなどを変革のチャンスと捉え、総合的な経済対策を進めるとともに、人口減少の克服に向け、デジタル技術の活用による行財政改革や異次元の少子化対策などに取り組むとしています。

本市におきましても、時代の変化を的確に捉えながら、第六次鹿児島市総合計画に掲げる「“地域の稼ぐ力”向上」、「ICTで住みよいまち”推進」、「子どもの未来輝き”推進」の3つの重点プロジェクトをはじめ、各施策をさらに推進し、持続可能で人もまちも躍動する鹿児島市を実現していく必要があると考えております。

主な取組としましては、観光が経済成長のエンジンとして、さらに力強く機能を果たしていけるよう、インバウンド対応を強化するとともに、観光資源の付加価値を高め、観光消費額のさらなる拡大を図ってまいります。

また、市民の利便性向上を図るため、窓口手続などにデジタル技術を積極的に取り入れ、ICTで住みよいまちの実現を目指して

いくほか、貧困や虐待などから子どもを地域で守り育てるとともに、新しい時代に対応した教育や、仕事と家庭の両立のための環境づくりを進め、子どもの未来を応援する取組を推進してまいります。

さらに、皆様方との緊密な連携のもと、健康増進計画の策定による健康づくりの啓発や元氣いきいき検診事業などの疾病の予防・早期発見の充実に積極的に取り組み、質の高い地域医療の充実と市民の健康増進を推進してまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

本年は、私の市長任期の締めくくりの年となりますので、「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」の実現に向けて、市民の皆様とお約束した諸施策の総仕上げに全力を尽くしてまいります。

結びに、新しい年が未来への夢と希望の持てる素晴らしい年となりますことと、鹿児島市医師会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。